



# まちと駅をつなぐ 人と人をつなぐ 西口から池袋の再生が始まります

## ■全体協議会

〔開催日時・場所〕 9月4日(木) 19:30~20:15 豊島区立勤労福祉会館大会議室

### 〔報告・協議事項〕

- ・まちづくり懇談会報告
- ・池袋駅西口地区まちづくり検討について
- ・「池袋西口の未来をデザインする会(仮称)」のお知らせ

## ■全体協議会での主なご意見、要望

- ・検討案の中でふれていなかった自然・緑をぜひ大切にしてほしい。
- ・バスパスを見ると交通処理できるのか懸念している。
- ・再開発のために一度出ていくテナントの人たちを呼び戻すために必要な一時移転場所はどこに考えているか。(⇒段階整備をする中で地区内に仮設の移転先を用意するという案を説明した)

## ■池袋西口の未来をデザインする会 第1回

〔開催日時・場所〕 9月17日(水) 14:00~15:30 エポック10(勤労福祉会館内) 研修室1  
全体協議会の提案をおさらいし、会員の皆様にまちのイメージ、目指すコンセプトについて意見交換を行った。

### ■いただいた主なご意見(まちのイメージ)

- ・池袋は気取らない街、普段着でいける街。掘りごたつのようなまち、手を伸ばせば、なんでも手が届く。
- ・三つの副都心で比較すると、池袋西口は住む人が多いまち、オフィスが足りない。
- ・西口は地下道だけ作って人が出てこない街になってしまった。

### ■いただいた主なご意見(まちに必要なもの)

- ・コンパクトシティをやるなら池袋が適任だと思う。繁華街の周りは住宅地なので駐輪場の機能も大事な要素。
- ・人を呼ぶにはソフト面の充実が必要。文化は高尚すぎて人が呼べない、エンタテインメントはどうだろうか。
- ・若い人たちが起業しやすい、仕事しやすい基盤があればオフィスが生まれてくるのではないか。
- ・まちを点ではなく面で考えてほしい、サンクンガーデンだけでなく、人を駅の外、地上に出す工夫が複数必要。

#### 残したい・創りたい街のイメージ

- 何でも揃う便利な街
- 気取らず生活できる街
- 生活しやすい街
- 交流できる街
- 楽しめる街
- 周辺に広がるまちづくり

#### デザインする会第2回資料 まちづくりのイメージ

##### まちづくりのターゲット

- 多世代
- 住んでる人
- 来街者

##### 必要な機能

- 人を中心とした広場
- みどりの自然
- 芸術・文化機能

### 【まちづくりのコンセプト】

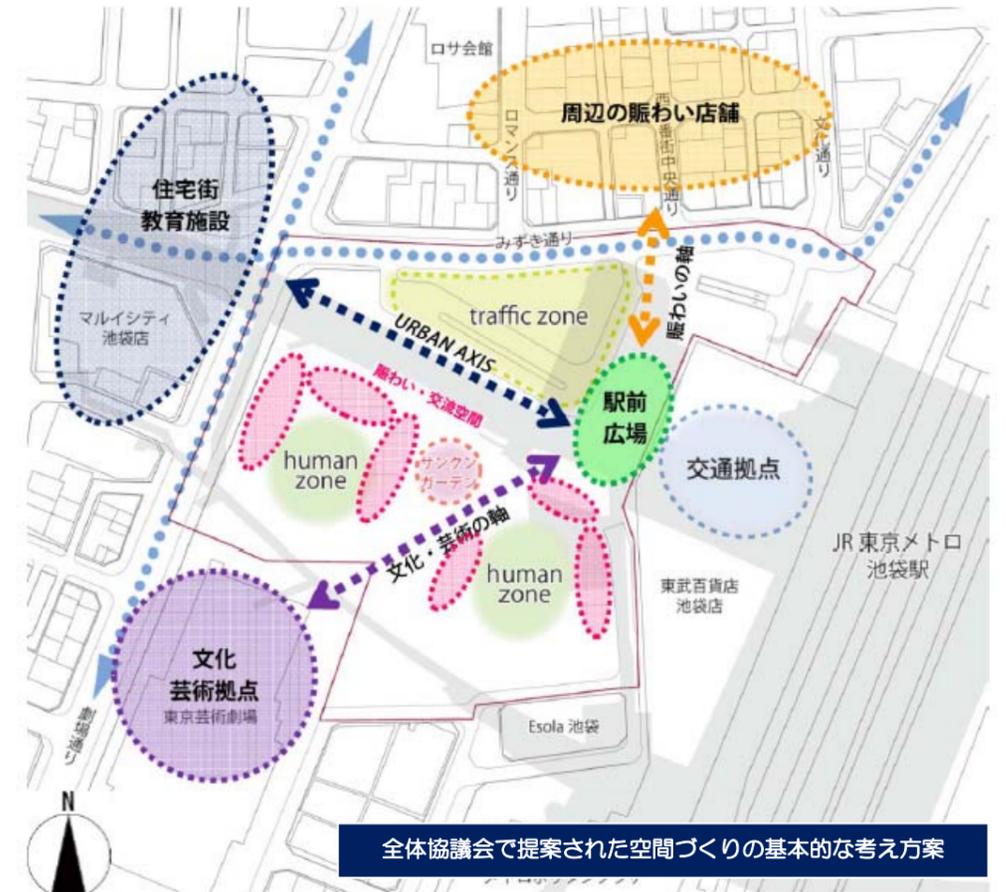


01 “人間中心”の駅前広場空間づくり

02 自動車・歩行者の明確な“歩車分離”

03 池袋駅西口ならではの“文化・芸術”の発信拠点

04 都心の駅前空間に相応しい“賑わいと交流”の醸成



全体協議会で提案された空間づくりの基本的な考え方案

## ■池袋西口の未来をデザインする会 第2回

〔開催日時・場所〕 10月15日(水) 14:00~15:30 エポック10(勤労福祉会館内) 研修室2  
前回の皆様のご意見を受けて、共有するイメージとして「つながる」まちというコンセプトを提案した。

### ■いただいた主なご意見

- ・(全体の意見として)「つながる」は良いと思う、大事にしたい。
- ・いままでも「つながる」ということを意識して、まちのイベントなどの取り組みをしてきた。
- ・イベントを日常的に開催することで、いろいろな人が参加してきて、それが「わたしのまち」になっていく。池袋というまちがちょっと歩いただけでもところが豊かになるまちにしたい。
- ・下北沢や吉祥寺のような住宅地に商店がうまれて賑わいが出たような「つながる」まちにしたい。
- ・「えきぶくろ」ではない街にしたい。人が回遊する街にし、駅前だけでなくエリアの外にも波及して広がっていくまちづくりを進めたい。
- ・尖っているもの、抜きこんでいるものがまちの象徴として欲しい。
- ・住んでいる側からみると、住みたいという、安全安心のまちづくり、災害に強いまちという視点が重要。
- ・収益につなげることが一番大事。文化はもうからない。

「池袋西口の未来をデザインする会」を2回開催し、地区のまちづくりのキーワードとして「つながる」まちというイメージが共有されました。今後は、このイメージを実現するための駅前空間づくりについて検討を深めます。まちの特徴は？ 駅前に必要な機能は何か？ 駅利用者を駅の外に引き出すためには？ 駅前のまちづくりを周囲に拡大させていくには？ など今後のまちづくり、空間づくりについて協議会員のみなさまのご参加と積極的な意見交換をよろしくお願いいたします。

## 6月25日、26日にまちづくり懇談会を開催しました

### 〔開催日時・場所〕

6月25日（水）13：30～ 勤労福祉会館大会議室

6月26日（木）19：00～ 勤労福祉会館大会議室

### 〔開催目的〕

○少人数のグループにて、まちづくりや再開発事業に関する相談、要望等を意見交換する

### 〔主な質問・意見交換〕

・再開発事業のスケジュール感がわからない。他地区の再開発事業は竣工までに何年程かかっているのか？

→地区特性や地元状況による個別性が高いが、一般的には10年程のものが多く、長い事例では、東池袋の再開発事業が20年程かかっている。短い事例では、大崎の再開発事業が現在進行中だが、今のペースで進めば8年程で竣工すると思われる。

・補償費があるとはいえ、余剰容積率の少ない西口地区で再開発事業は成立するのか？

→西口地区で再開発事業を成立させるには、段階的な整備計画や仮店舗の整備等により、再開発事業における補償費の圧縮を検討する必要があると考えている。



まちづくり懇談会の様子

## ■大久保氏が副会長に就任しました

### ■臨時総会

#### 〔開催日時・場所〕

9月4日（木）19：00～19：20

豊島区立勤労福祉会館大会議室

#### 〔出席者〕

協議会会員60名(委任状,議決行使権含む)

豊島区5名

まちづくり協力者3名

まちづくりアドバイザー6名

オブザーバー(豊島区議会議員)3名

#### 〔協議事項〕

- ・第一号議案 役員の選任について  
第一号議案は賛成多数で承認されました。

臨時総会・全体協議会后、新しく承認された役員の間で会長・副会長の互選を行いました。久保副会長に代わってGブロックの副会長は大久保氏が務めることになりました。



臨時総会・全体協議会の様子

## 協議会加入届ご提出のお願い

今年度協議会では、まちづくり実現のための具体的な検討がおこなわれています。これまで協議会に未加入であった方々におかれましては、是非加入届をご提出していただき、協議会活動にご参加いただけますようお願い申し上げます。協議会加入届は、事務局で随時承ります。

まちづくり協議会加入状況		
	26年10月15日現在	26年4月末時点
地権者数	149名	149名
協議会会員数	100名(+2名)	98名
協議会加入率	67%(+1%)	66%

### ●お問い合わせ(池袋駅西口地区まちづくり協議会事務局)

豊島区 都市整備部 都市計画課

電話：03-3981-2613 FAX：03-5950-0803

E-mail：A0022603@city.toshima.lg.jp